

## 山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	食道裂孔ヘルニア・胃食道逆流症の外科治療の全国実態調査		
② 実施予定期間	倫理審査委員会承認後 から 2019年12月31日		
③ 対象患者	④の対象期間中に当院で食道裂孔ヘルニアや胃食道逆流症による治療を受けられた患者さん		
④ 対象期間	2001年1月1日 から 2015年12月31日 (追跡期間として2018年12月31日までのデータを提供します)		
⑤ 研究機関の名称	別添参照		
⑥ 対象診療科	消化器・腫瘍外科		
⑦ 研究責任者	氏名	永野 浩昭	所属 消化器・腫瘍外科
⑧ 使用する情報等	以下の情報を患者さんの診療録等から収集します。 1.患者さん背景情報、2.検査に関する情報、3.手術に関する情報 4.対象期間内における、術後の経過に関する情報		
⑨ 研究の概要	<p>【研究（調査）の目的と概略】</p> <p>食道裂孔ヘルニアや胃食道逆流症は最も多い食道良性疾患です。食事がつかえる、胸やけがする、夜間に咳き込むなどの症状は、多くの場合には薬物治療で症状が消失したり軽くなりますが、薬物治療が効かない場合もあります。その際には外科治療が行われます。これらの疾患に対する全国規模の調査は少ないため、日本人における外科治療の有効性や安全性の実態が明らかになっておりません。食道裂孔ヘルニアや胃食道逆流症に対する外科治療に関する全国調査を実施して、日本人に適した手術適応や手術方法を検討することを目的とします。</p> <p>【研究（調査）の方法】</p> <p>日本食道学会の食道科認定医所属施設に食道裂孔ヘルニアと胃食道逆流症の手術症例に関して調査用紙を用いて調査を行ないます。集計したデータをもとに、併存疾患、症状、治療歴、手術前の検査、手術適応、手術方法、手術成績などについて解析して、食道裂孔ヘルニアと胃食道逆流症に対する適切な手術適応や手術方法を検討します。</p> <p>収集した情報は、個人が特定されない方法で東海大学へ提供いたします。</p>		
⑩ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2019年 2月 6日	
⑪ 研究計画書等の関	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報		

覧等	及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。 詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		
⑭ 知的財産権	日本食道学会に帰属します。		
⑮ 研究の資金源	東海大学の研究推進費または特別学術研究費		
⑯ 利益相反	ありません		
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 消化器・腫瘍外科 担当者：武田 茂		
	電話	0836-22-2264	FAX 0836-22-2263

別添

研究組織

研究代表者：

東海大学医学部外科学系消化器外科学講座 小澤 壯治

研究参加施設と研究責任者

日本食道学会の食道科認定医所属施設

※日本食道学会ホームページを参照してください。

<https://www.esophagus.jp/public/list/>